

# ISDN BRI 音声インターフェイスカードについて

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[製品番号](#)

[機能](#)

[サポートされない機能](#)

[コンフィギュレーション](#)

[プラットフォームのサポート](#)

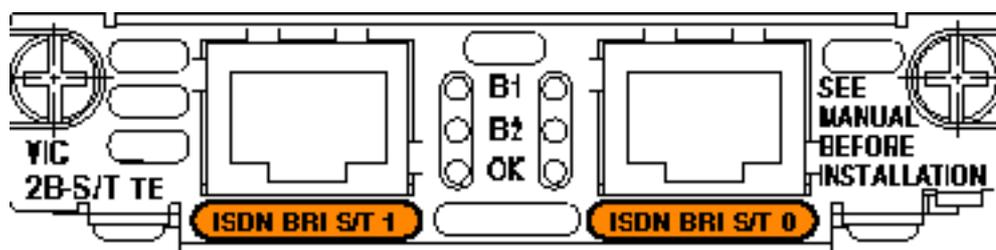
[既知の問題](#)

[アプリケーション](#)

[関連情報](#)

## 概要

VIC-2BRI-S/T-TE などの ISDN 音声インターフェイスカード (VIC) は、構内網と公衆網との接続がサポートされており、直接、PSTN (公衆電話交換網) および PBX、PABX (構内交換機) に接続できます。



## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントでは、下記の ISDN BRI VIC を取り上げています。

- VIC-2BRI-S/T-TE
- VIC-2BRI-NT/TE
- VIC2-2BRI-NT/TE

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

## 製品番号

製品番号	説明
VIC-2BRI-S/T-TE	2ポート ISDN BRI VIC、S/T インターフェイス、Terminal Equipment ( TE )
VIC-2BRI-NT/TE	2ポート ISDN BRI VIC、S/T インターフェイス、Network Termination ( NT ) または TE
VIC2-2BRI-NT/TE	2ポート ISDN BRI VIC、S/T インターフェイス、NT あるいは TE

## 機能

次の表には、ISDN BRI VIC でサポートされている機能がリストされています。

機能	説明
音声ポート	ISDN BRI x 2 ポート ( B チャンネル x 4 )。VIC ( Voice Interface Card ) 1 枚で、4 チャンネルの音声コールをサポート。
ISDN インターフェイス	ISDN BRI S/T RJ-45
接続	<b>VIC-2BRI-S/T-TE:TE</b> ISDN インターフェイスを提供します。CO スイッチ ( 局用交換機 )、または NT ( Network Termination ) を提供する PBX と接続可能。この VIC に ISDN 電話やファックスを接続することはできません ( それには、NT を実装する必要があります )。 <b>VIC-2BRI-NT/TE:TE</b> または NT を提供します。 <b>VIC2-2BRI-NT/TE:TE</b> または NT を提供します。ネットワーク側あるいはユーザ側として、公衆網としての PBX やキーシステムに接続 ( ISDN 音声 BRI )。特許出願中のフレキシブルなレイヤ 2 ( L2 ) およびレイヤ 3 ( L3 ) コミュニケーションをサポート。
ISDN スイッチタイプ	すべての Cisco IOS(R) でサポートされている、全ての ISDN BRI Switch Type に対応。

VIC2-2BRI-NT/TE は同様の機能の古いカードを置き換えるハードウェアによる新世代の VIC であ

り、製造でのコンポーネントの問題が解消されています。これらの BRI カードでは新機能も導入されており、これにより、必要な Stock Keeping Unit ( SKU ) 数が削減されています。

VIC2-2BRI-NT/TE は NM-HD-1V、NM-HD-2V、NM-HD-2VE でサポートされており、一方、VIC-2BRI-S/T-TE と VIC-2BRI-NT/TE は、現在、NM-1V/2V でサポートされています。

## サポートされない機能

ISDN BRI VIC ではサポートされていない機能を次に示します。

- ISDN 付加サービス
- B チャンネル上のデータ コール
- Group 4 ( G4 ) ファックス ( ISDN デジタル ファックス )
- D チャンネル上のコール
- NM-1Vに VIC-2BRI-S/T-TE を搭載した場合、コールは2 チャンネルまでとなります。2 つ目の BRI ポートはシャットダウンされます。
- NM-2V で VIC-2BRI-S/T-TE を使用する場合に発信できるのは、4 コールになります。2 つ目のスロットに別の VIC がある場合は、VIC-2BRI-S/T-TE の 2 つ目の BRI ポートはシャットダウンされます。
- ISDN BRI の VIC は、別の交換機との接続に対してだけサポートされます。(例えば、PBX または PSTN など)。ISDN BRI 電話との接続はサポートされていません。

## コンフィギュレーション

ISDN パラメータは、データ用の ISDN BRI インターフェイスと同じように設定します。

注：音声ネットワークモジュールのデジタル信号プロセッサ(DSP)に音声コールをルーティングするには、`isdn incoming-voice modem` コマンドが必要です。このコマンドの詳細は、『[isdn incoming-voice modem](#)』を参照してください。

Cisco IOS ソフトウェアの音声機能の設定については、『[Cisco 3600 シリーズでの VoIP](#)』を参照してください。

注：Cisco IOSソフトウェアでは、`voice-port <slot>/<VIC slot>/<unit>` グローバル設定コマンドを発行して、音声ポートパラメータを設定します。

Cisco ルータで VoIP の設定に使われるコマンドは、次の表に示されているルータ プラットフォームでほとんど共通です。

Catalyst 4000 で Catalyst OS ( CatOS ) の音声機能を設定するには、『[音声インターフェイスの設定](#)』を参照してください。

## プラットフォームのサポート

C i s c o	1751 、 1760 3	2600	2600 XM/2 650X M	3620 <sup>4</sup> 、 3640 <sup>2</sup>	3660 2	2691 、 3725 、 3745	V G 2 0 0
-----------------------	------------------------	------	---------------------------	--	--------	--------------------------------	-----------------------

I O S サ ポ ー ト							
V I C ニ B R I S / I ニ I E 2 ポ ー ト I S D N B R I V I C S / I ニ I E 2 ポ ー ト	Not Sup porte d	12.0(2)X D、 12.0(3)T 、 12.0XK 、 12.1(1) 、 12.1(1)T 、 12.2(1) 、 12.2(2)T 、 12.2(2)X T、 12.2(11) YT、 12.3(1)	す べ て の C i s c o I O S ソ フ ト ウ エ ア バ ー ジ ョ ン		12.0(7)XK 、 12.1(1)T 、 12.1(5)YB 、 12.1(5)YD 、 12.2(1)、 12.2(2)T 、 12.2(2)XT 、 12.2(11)Y T、 12.2(15)Z J、 12.3(1)、 12.3(2)T	す べ て の バ ー ジ ョ ン	す べ て の C i s c o I O S ソ フ ト ウ エ ア バ ー ジ ョ ン
V I	す べ て の	12.1(3)X I、	12.2( 8)T1	12.1(3)XI 、	12.1(3)XI 、	12.2( 11)Y	1 2.



I N T E R N E T I N T E R F A C E S I N C O N T A I N I N G B R I V I C S I N C O N T A I N I N G 2 P O R T S	2)XE 、 12.3( 4)T 、 12.3( 5)					
---	---	--	--	--	--	--

1 音声サポートには、1700 シリーズ ルータでは Cisco IOS ソフトウェア音声機能セット、2600/3600 シリーズ ルータでは Cisco IOS ソフトウェア PLUS 機能セットが必要です。

2 3631 ルータでは音声サポートはありません。

3Cisco 1750 ルータ プラットフォームでは BRI VIC はサポートされていません。

4Cisco 3620 シリーズ ルータでは VIC2-2BRI-NT-TE カードはサポートされていません。

## 既知の問題

このセクションでは、BRI VIC に関する既知の問題をいくつか取り上げています。

BRI 音声インターフェイスの設定時に、次のエラー メッセージを受け取ります。

%C542-1-INSUFFICIENT\_DSPS: VNM(1), cannot support all voice channels on VICs.

VIC-2BRI-S/T-TE には音声ネットワーク モジュールが処理できるよりも多くの B チャンネルを置けることが、この原因です。NM-1V には DSP が 2 つ備わっているので、2 つの音声コールを処理できます。NM-2V には DSP が 4 つ備わっているので、4 つの音声コールを処理できます。この詳細については、[Error Message Decoder \(登録ユーザ専用\)のエラーメッセージ %C542-1-INSUFFICIENT\\_DSPS \(登録ユーザ専用\)](#)を参照してください。

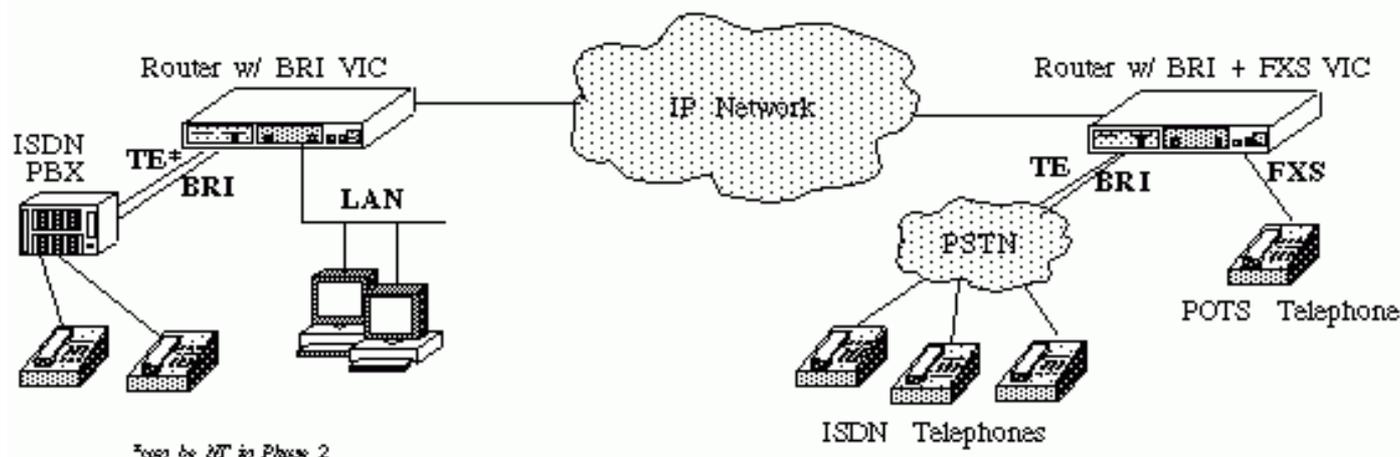
もう 1 つの既知の問題は、Cisco Bug ID [CSCdv00152 \(登録ユーザ専用\)](#) によるものです。

BRI ポートの CLI で `compand-type a-law` コマンドがありません。

このバグは、の北米地域での使用を制限していました。誤ったコンパンドデコーディングが適用されて音声のひずみが発生するためです。この不具合は Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(2) と 12.2(3)T で発生し、12.2(5) と 12.2(8)T のリリースで解決されています。

## [アプリケーション](#)

次の例には、BRI VIC の応用例の 1 つが示されています。BRI VIC を直接 PSTN や ISDN PBX に接続できることを確認してください。



注：提供されている Cisco IOS ソフトウェア リリースは、通常、対象のプラットフォーム、モジュール、または機能をサポートするために必要な最低限のバージョンです。機能、モジュール、インターフェイスカード、またはシャーシをサポートする Cisco IOS ソフトウェアのリリースを網羅したリストは、[Software Advisor \(登録ユーザ専用\) ツール](#)を参照してください。

注：このドキュメントで提供されるコマンドの詳細については、[Command Lookup Tool\(登録ユーザ専用\)](#)を参照してください。

## [関連情報](#)

- [音声インターフェイスカードおよび ISDN BRI 音声モジュールでの ISDN BRI NT/TE インターフェイスの設定](#)
- [ネットワーク側の ISDN BRI 音声インターフェイスカードの設定](#)
- [BRI トラブルシューティングでの show isdn status コマンドの使用](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)